



ゆくて遙かに

令和2年1月27日(月)

第92号

長野県松本深志高等学校長

1年スキー・スノーボード教室、2年学習合宿(1月23日~24日)

1年の学年行事スキー・スノーボード教室が、23日から24日にかけて一泊二日の日程で行われました。深志生にとっては数少ない宿泊行事、会場は今年も小谷村にある梅池高原スキー場です。



1日目は弱い雨が落ちていたようですが、2日目には晴れ間もあり、まずまずのコンディション



スキー、スノーボードそれぞれ自分の技量に合わせた10名前後のグループで、インストラクターの指導を受けながらの野外教室。予報では雨マークが出ていましたが、雨天の場合は宿舎で学習合宿に変更、という噂が流れる中、なんとか天気は持ってウィンタースポーツをクラスや学年の仲間と楽しんだ二日間になったようです。一方、

2年生は同日、希望者約100名による学習合宿を「ブリーズベイリゾート塩尻かたおか」で実施しました。開講講座や時間割を見ると、英文法、英文読解、数学標準、数学発展、現代文、古文、国語複合と英数国の三教科にみっちり取り組む日程になっています。受験が迫る3年生はこの二日間も学校で追い込みの特編授業、様々な授業形態の週末でした。(学習合宿の様子は次号でお知らせします)

センター試験、得点調整なし(1月24日)

24日、大学入試センターから2020年度センター試験の平均点の2度目の中間集計が発表されました。受験者の99%以上にあたる52万6701人の採点を終えて結果を集計したもので、22日に発表されたものよりも精度が上がりました。出題の傾向が変わったこともあり(来年度から実施の共通テストの先取り?)、全体としては昨年度よりも下がりましたが、20点以上の平均点差が生じた



場合の「得点調整」は、行わないことが併せて発表されました。27日からはよいよ2次試験の出願受付が始まります。(出願期間は2月5日まで) 大手予備校のデータも出そろい、学校ではこの土日にかけて、3年生の担任と保護者・本人との面談が行われていました。私立大学の入試も今週あたりから本格的に始まり、2月にはピークを迎えます。緊張の日々が続くこととなりますが、体調管理を怠らずに、一途一心(いちずいっしん)で、大学入試という関門にひたむきに立ち向かってください。最後まで絶対に諦めない、という気持ちが大切です。ネバーネバーネバーギブアップの精神で、入試の壁を乗り越えるために全力を尽くすことを祈っています。



「狭き門より入れ」土日の入口

第2回長野県高校生会議(1月25日)



昨年度から始まったこの会議、長野県の高校の夏休みの短さやその過ごし方に課題意識を持った高校生たちが一堂に会して、議論し意見をまとめ、県教委に提言したのが昨年度でした。私は、「夏休みをもっと長くしてほしい」という声がたくさん出ると感じていましたが、日数を増やすことよりもその中身、夏休みの過ごし方について、長期休業でなければできないことをしたい、という意見がほとんどだったのが印象的でした。今年のテーマは「長期休暇の課題(宿題)制度、それに伴う大学入試

制度」、県下16校から48人の高校生が会場の県ヶ丘高校に集まり、5~6人のグループに分かれて議論。本校からも1年の市谷くんと清水くんの2名が参加しました。学校の枠を超えて高校生がつながることは、貴重で、刺激的で、とても有意義なことです。学校が違えば学校文化も少しずつ異なり、より多様で異質な他者と出会えることになり、このことが何より重要だと思っています。

その他の話題をいくつか

★ 10月に行われた長野県高校ビブリオバトル大会で、2年の林さんが優勝し、全国大会への出場者に選ばれたことは以前お知らせしました。その壮行会を兼ねた校内ビブリオ大会が、22日の放課後、図書館で開催され、林さんが紹介した「アリス殺し(小林泰三)」がチャンプ本に選ばれました。全国での活躍を期待します。

★ 2020年度の生徒会一般会計予算に係る折衝会が、1月20日の月曜日から行われています。次号で、その様子をお知らせします。



上位3名の表彰式(今回は参加者全員)

今週の予定(B2)

日	曜日	行事等	その他(主に校長動向)
27	月	学年会	
28	火		
29	水	職員会	
30	木		校長会理事会・臨時総会
31	金		↓
2/1	土	土曜授業	東京同窓連新年会
2	日		
3	月	(A1) 英語授業研究公開 学年会	

